

科目名 (英文表記)	特殊講義Ⅲ (Demola program) (Special Topics Ⅲ)		
科目区分	発展科目	単位数	2 単位
担当教員名	篠本智之・玉井健一・猪口純路・金子純一(非常勤講師)	ナンバリング	MBA_E_GM 5331
研究室番号	(篠本) 4 5 7 (玉井) 4 1 6 (猪口) 3 3 1	研究室電話番号	(篠本) 2 7 - 5 3 4 7 (玉井) 2 7 - 5 3 3 2 (猪口) 2 7 - 5 4 9 7
Eメール・アドレス	(篠本) hatamoto@res.otaru-uc.ac.jp (玉井) ktamai@res.otaru-uc.ac.jp (猪口) inojun-u@res.otaru-uc.ac.jp		

授業の内容及び方法： 次頁以降に記載

授業の目的：

本授業は、北海道大学が導入したDemolaプログラムによる同大学工学院との合併講義である。Demolaは、企業が有する課題に対して学生と企業が共にその解決策を作り上げていく「フィンランド発祥の課題解決プログラム」である。

本科目では、実企業が抱えるビジネス課題に対して学生がチームを組み、企業と協働して課題解決を図ることで、新しいビジネスのコンセプトアイデアを生み出す。リアルな課題を対象としたビジネスプラン策定の場で、学生が内発的なイノベーションを起こす力（イノベーションポテンシャル）を底上げしながら、ビジネスセンスと実践的な能力を習得することを目的とする。また、課題に対して必要な分析を行い、解決に向けたコンセプトを基にプランを練ることで、実現可能性が高く、強い説得力を有するプランを仕上げるためのプロセスとその必要性を理解させ、これら習熟能力を磨く。この統合ビジネススキルを有す学生を北海道で排出し、北海道に根ざしたアントレプレナー、イントレプレナーの育成を図る。

到達目標：

本科目では、多様な専門性、パーソナリティ、経験をもつ者が集まったチームで企業の抱えるリアルな課題を解決する。課題解決のプロセスの中で磨かれる問題解決能力や意思決定能力に、本学で学んだ専門的な知識を融合し、複雑な経営課題に直面した時に対応できる能力を身につけることを目標とする。

使用教材：

『MBA のためのビジネスプランニング 改訂版』同文館出版、2012年。
ケースは適宜、manabaよりダウンロードすること。

成績評価の方法： 以下の点に基づいて成績評価を行う。

授業への参加度 50% (中間・最終発表、ディスカッションへの参加等)
最終課題 50% (最終レポート)
なお、締切り後に提出された課題は採点しないので、十分に注意すること。
評価に不服のある場合には、不服申立書を以て教務委員長に申し出ること。

履修上の注意事項：

- ① 履修登録の他にDEMOLA のウェブサイト (<https://demola-hokudai.jp/>) での申込みが別途必要となります。なお、人数に制限があるので選考することがあります。
- ② 5時限を超えて欠席すると自動的に不可となる。
- ③ モジュール毎に詳細なスケジュールを配付する。
- ④ すべてのレポートを提出しなければ、単位認定の対象とはしない。
- ⑤ 開講時期が異なる2つのクラスを設定するので、いずれかを選択すること。
- ⑥ 特段の事情により欠席する場合は、補講等の代替措置を講じます。